

Minami Kyushu Junior College Syllabus						
科目名称	日本語言語表現				英語コミュニケーション	()
英文科目名称	Japanese Language Expressions				留 学	()
科目コード	590081	授業形態	演習	単位数	2	ビジネス・キャリア (必)
教員氏名	田中 利砂子		年次配当	1年次	後期	ホテル・観光 (○) オフィス情報 (必) 医療事務・医療秘書 (必) スポーツ健康 (○) 大学編入 () グローバル (○)
授業概要及び 授業方法	<p>文章表現力は、大学においてはもちろんのこと社会に出てからも重要視される。そこで、日本語言語表現では、前期開講科目のビジネス文書に引き続き、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。また、社会人になるためには「社会人基礎力」(「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」)の習得も不可欠であることから、毎回の授業をグループワーク形式で進める。グループ内で意見を交換する過程を繰り返し体験することにより、主体性、深く考える力、チームで協力する姿勢を養成する。本科目では、特にアカデミック・ジャパニーズの習得に焦点を当て、レポートの作成方法について学ぶ。さらに、グループで調査・研究した結果を発表することにより、プレゼンテーション力の向上を図る。</p>					
関連する科目	ビジネス文書		学習成果との関係	①②③		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の説明、14課 レポートとは何かを知る 2. 14課 レポートとは何かを知る 3. 15課 テーマを絞りこみ、資料を探す 4. 16課 論拠を示す 5. 17課 文献から引用する 6. 18課 アンケート調査をする 1. アンケート調査の手順 7. 18課 アンケート調査をする 2. アンケート調査用紙を作成し、調査を実施する 8. 19課 図表を利用する 1. 図表利用の注意点と適切な表現 9. 19課 図表を利用する 2. アンケート調査結果の一部を図表にまとめ、発表する 10. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す 1. プレゼンテーションの準備① 11. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す 2. プレゼンテーションの準備② 12. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す 3. プレゼンテーションの準備③ 13. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す 4. プレゼンテーションの実践① 14. 20課 プレゼンテーションで内容を見直す 5. プレゼンテーションの実践② 15. 21課 レポートを仕上げる 					
授業時間外の学習	<p>【予習】「使用教材」の該当課を事前に読んで予習しておくこと。(2時間程度) 【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。課題は確実に遂行すること。(2時間程度)</p>					
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 客観的な文章が書けるようになる。 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力を身につける。 ③ 論理的に思考することができる。 					
課題に対する フィードバック	課題やプレゼンテーションのフィードバックは、 授業時に適宜行う	評価方法	授業態度・課題40点 プレゼンテーション30点 レポート30点			
テキスト	野田春美ほか(2016)『グループワークで日本語表現アップ』ひつじ書房					
参考書	石黒圭(2012)『この1冊できちんと書ける！ 論文・レポートの基本』日本実業出版社					
備考	特になし					